



かるかる

2013年 10月 vol.217

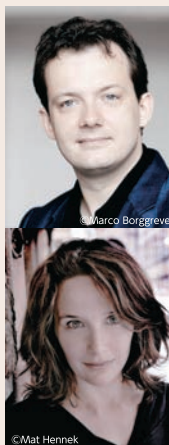
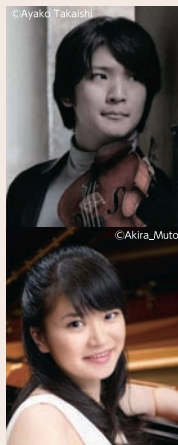
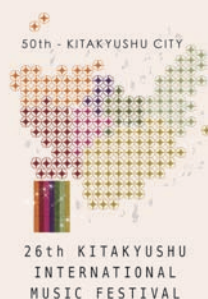
未来へのきらめき — 躍進する新世代たち —

北九州市制50周年記念事業

TOTO 2013 北九州国際音楽祭

26th KITAKYUSHU INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL

10.6[日]▶11.23[土・祝]



【主催】北九州国際音楽祭実行委員会 【特別協力】 **TOTO** 【チケット取扱】 北九州国際音楽祭事務局、豊ホール、北九州芸術劇場プレイガイド、チケットぴあ、ローソンチケット、ほか市内主要プレイガイド
【お問合せ先】 北九州国際音楽祭実行委員会事務局 TEL:093-663-6567(営業時間/9:00~17:00 土日祝を除く)

チケット好評発売中!

24時間いつでも予約・購入
オンラインチケットサービス!

<http://www.kimfes.com>



北九州芸術劇場



●住所/小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6F ●電話/093-562-2655 ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩3分 バス:「室町・リバーウォーク」徒歩1分 ●開館時間/公演によって異なります

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	彩の国シェイクスピア・シリーズ第28弾「ヴェニスの商人」 蜷川幸雄演出。主演市川猿之助ほか、全ての役を男性のみで演じる。	5(土)	12:30 18:00	S席 ¥9,000 A席 ¥6,000 B席 ¥4,000 (当日各¥500増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
		6(日)	12:30		
	ふるきやらMUSICAL ドリーム工場 東北のプレタポルテ	9(水)	18:30	¥4,000 (当日¥500増)	新生ふるきやら 042-386-8355
	北九州市制50周年記念 全日本高等学校チームダンス選手権大会	13(日)	13:00	¥1,000	全日本高等学校 チームダンス選手権大会事務局 080-9143-0050
	北九州市制50周年記念事業 青少年向け薬物乱用防止啓発活動2013ダンスフェスティバル	19(土)	13:00	無 料	公益社団法人 北九州市薬剤師会 093-651-2255
	第25回 童謡まつり&合唱音楽祭	26(土)	13:00	¥1,000 中学生以下無料	小倉工業倶楽部 093-541-2114(梅木)
梯 剛之ピアノリサイタル	27(日)	14:00	S席 ¥5,000 A席 ¥4,000 ※高校生以下は各¥1,000引	北九州楽友協会 093-622-1900	
中劇場	詩吟朗詠錦城流 一般社団法人 詩吟朗詠錦城会認可 小倉支部50周年記念大会	6(日)	13:00	無 料	詩吟朗詠錦城流 一般社団法人 詩吟朗詠錦城会認可小倉支部 0979-22-8311
	中村恩恵×首藤康之 「Shakespeare THE SONNETS」 シェイクスピアの愛の詩「ソネット」を読み解く至高のダンス作品	20(日)	14:00	一般 ¥4,000 ユース ¥2,000 ※24歳以下・要身分証提示・ 枚数限定・劇場のみ取扱 (当日各¥500増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
	北九州少年合唱隊 第27回定期演奏会	27(日)	15:30	¥1,000	北九州少年合唱隊 093-472-3276
小劇場	飛ぶ劇場vol.34「大砲の家族」 北九州芸術劇場初のプロデュース公演作品が「飛ぶ劇場」版として復活	3(木)	19:00	一般 ¥2,800 学生(大学生以下) ¥2,000 *4日14:00公演は昼割料金、 律 ¥2,000 (当日各¥200増)	飛ぶ劇場制作事務所 093-372-0299
		4(金)	14:00 19:00		
		5(土)	14:00 19:00		
		6(日)	14:00		
		北九州芸術劇場リーディングセッションvol.23「グリムのような物語」 前田司郎(五反田団)演出で送る、シュールで笑えるグリム童話の世界。	12(土)		
	13(日)	14:00			
	14(月・祝)	14:00			
	シャンソン発表会	18(金)	14:00	無 料	メダム・ボンムス 093-641-8962
月本真愛(vl)・月本真理子(pf)ジョイントコンサート	20(日)	15:00	一般 ¥2,000 高校生以下 ¥1,000	フォーレストホール コンサート 080-1078-6407	
レディスやはた 朗読発表会	31(木)	14:00	無 料 ※要入場整理券	レディスやはた 朗読の会 093-652-0640	

■北九州芸術劇場改修工事のお知らせ
北九州芸術劇場は平成26年度中に大規模な改修工事を予定しております。(予定工事期間:平成26年12月1日から平成27年1月31日) (北九州芸術劇場 施設利用係 TEL 093-562-8436)

北九州芸術劇場 市民ギャラリー



●住所/小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5F ●電話/093-562-2520
●開館時間/10:00~19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩3分 ●休館日/年末年始

イベント	期間 (時間は上記)	入場料	問合せ先
九画会水墨画展 絵画	2(水)~8(火) ※10:00~18:00	無 料	九画会 093-922-0068
第64回(平成25年度)小倉北区民美術展・公募展 絵画・書道・写真・彫刻・その他	10(木)~15(火)	無 料	小倉北区役所コミュニティ支援課 093-582-3322
藤木徳男水彩画教室展 絵画	16(水)~22(火)	無 料	藤木徳男水彩画教室 093-551-5173
墨神会書作展 書道	23(水)~29(火)	無 料	墨神会 093-561-7685
ふれあい写真展 写真	10/30(水)~11/5(火)	無 料	ふれあい 093-941-0501

北九州市立響ホール



●住所/八幡東区平野1-1-1 ●電話/093-662-4010 ●駐車場/240台(有料) ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩15分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩10分、「国際文化交流センター」徒歩2分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
2013北九州国際音楽祭 オープニング プレミアム ガラ・コンサート 篠崎史紀、川口エリサ、豊嶋起久子、手嶋真佐子、双紙正哉、南 紫音 ほかに総勢35名 ヴィヴァルディ:四季 ほかに	6(日)	15:00 *3時間公演	S席 ¥6,000 A席 ¥4,000 U-25(A席) ¥2,000 *学生問わず25歳以下、要証明 (当日各¥500増)	北九州国際音楽祭実行委員会 事務局 093-663-6567
2013北九州国際音楽祭 IL DEVU イル・デーヴ(男声ユニット) 望月哲也、大槻孝志、青山 貴、山下浩司、河原忠之 オペラ アリア&デュエット アイルランド民謡:ダニー・ボーイ 日本唱歌:おぼろ月夜 ほかに	9(水)	19:15	指定席 ¥4,000 一般自由席 ¥3,500 U-25自由席 ¥2,000 ペア自由席 ¥6,000 (当日各¥500増、ペアは前売のみ)	北九州国際音楽祭実行委員会 事務局 093-663-6567

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
12年間・24回リサイタルシリーズ2006～2017 小山実稚恵「音の旅」第16回2013年秋 北九州公演 ベートーヴェン=リスト:交響曲第6番へ長調作品68「田園」ほか	12(土)	14:00	S席 ¥4,000 A席 ¥3,000 (当日各¥500増)	音風の会(おんぶのかい)事務局 080-3972-3789(大山)
マラソンコンサート	14(月・祝)	11:30	¥500	市民企画委員会事務局 080-2732-2532(蒲ヶ原)
カワイコンサート2013 外山啓介ピアノリサイタル J.S.バッハ:シャコンヌニ短調 シューマン:献呈 シューベルト:アヴェ・マリア	18(金)	19:00	一般 ¥2,500 ペア ¥4,000 学生・会員 ¥2,000 ※学生(小～大学生)、会員(カワイ会員のみ) (当日各¥500増)	(株)河合楽器製作所北九州店 093-531-5581(菊池)
北九州マンドリン合奏団 第40回定期演奏会 吉水秀徳:プレリュード2 久保田孝:舞踊風 組曲第2番 ベートーヴェン:エグモント序曲	20(日)	14:00	一般 ¥500 ※小学生以下、65歳以上の方無料 (受付にお申し出ください)	北九州マンドリン合奏団 090-1161-9188(川橋)
響ホール20周年記念事業 響ホール ワンコイン・ロビーコンサート・シリーズ 第2回 NPO法人北九州リバーサイドミュージックBOX 「SION」(江口紀子 岩崎雅子 谷口淑子)	23(水)	12:10 ※ホワイエにて開催	一般 ¥500 ※前売りは問い合わせ先へ ※立見の可能性あり	NPO法人北九州リバーサイド ミュージックBOX 093-642-8818(谷口)
第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会(本選) 声楽部門	25(金)	14:00 ※時間変更の可能性あり	¥1,500	毎日新聞社西部本社事業部 093-511-1119
第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会(本選) フルート部門 バイオリン部門	26(土)	フルート 10:30 バイオリン 13:30 ※時間変更の可能性あり	¥1,500	毎日新聞社西部本社事業部 093-511-1119
第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会(本選) ピアノ部門	27(日)	10:00 ※時間変更の可能性あり	¥1,500	毎日新聞社西部本社事業部 093-511-1119

出光美術館(門司)



●住所/門司区東港町2-3 ●電話/093-332-0251 ●開館時間/10:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩8分 車:「門司IC」約10分 ●休館日/月曜日(展示替期間、年末年始)

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
勝川春章の美人画ー北斎を生んだ浮世絵師 典雅な美人画を描いた春章の優品や、その師匠・北斎の作品を展示。	～10/27(日)	一般 ¥600 高校・大学生 ¥400 中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093-332-0251

関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)



●住所/門司区西海岸1-3-3 ●電話/093-331-6700 ●休館日/年5回
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間/9:00～17:00

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
筑前琵琶「平家物語」演奏会	6(日)	11:00 13:00	無料	関門海峡ミュージアム (海峡ドラマシップ) 093-331-6700

旧門司税関



●住所/門司区東港町1-24 ●電話/093-321-4151 ●休館日/なし
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩3分 ●開館時間/9:00～17:00

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1・2階	『藍染と地蔵詩画』	2(水)～7(月)	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093-321-4151
2階	『シャドーボックス展』	15(火)～20(日) ※1(火)は12:00～ 最終日は16:00まで	無料	
1・2階	『パッチワークキルトと駒子の紙人形展』	25(金)～29(火) ※最終日は16:00まで	無料	

門司港レトロ展望室



●住所/門司区東港町1-32 ●電話/093-321-4151 ●休館日/なし
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間/10:00～22:00(カフェは21:00まで)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ(トニック・オブノーツ)	5(土)	18:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	B&A 門司港 093-321-4151

門司市民会館



●住所/門司区老松町3-2 ●電話/093-321-2907 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00～22:00
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩13分 バス:「関門トンネル車道口」徒歩2分、「レトロ東本町1丁目」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	平成25年度 第63回 門司区文化祭 民謡大会 民謡発表会	27(土)	13:00	無料	門司文化団体連合会 093-331-6232

松永文庫(旧大連航路上屋内)



●住所/門司区西海岸1-3-5 ●電話/093-322-5020 ●開館時間/9:00～17:00
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
松永文庫企画展「郷土出身作家原作の映画」	10/12(土)～1/10(金)		無料	旧大連航路上屋 093-322-5020
松永文庫映画音楽コンサート	26(土)	14:00	¥500	

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

アルモニーサック 北九州ソレイユホール

●住所/小倉北区大手町12-3 ●電話/093-592-5405 ●休館日/年末年始(毎月1回(不定休)) ●開演時間/公演によって異なります
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩30分、「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場/80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	民音創立50周年記念公演 美空ひばりエンターテインメント あなたのひばり! 私のひばり!!	19(土)	14:00	A席 ¥7,000	MIN-ON北九州 093-884-1833
	19:00		B席 ¥6,000		
	北九州市民文化大学 文化講演会 講師:「齋藤 孝」氏	20(日)	13:30	関係者(随時募集)	北九州市民文化大学 093-522-5008
	高橋 真梨子コンサート2013 Premium 40 Forty with Henry Band	27(日)	17:30	全席指定 ¥8,000	(株)BEA 092-712-4221

北九州国際会議場

●住所/小倉北区浅野3-9-30 ●電話/093-541-5931 ●開館時間/9:00~22:00(予約状況により変動)
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分 バス:「浅野2丁目」徒歩1分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
メインホール	平成25年西日本新聞金婚夫婦表彰式 結婚50周年を迎える金婚夫婦の表彰	6(日)	13:00	無料 ※要事前申込	西日本新聞金婚夫婦表彰式事務局 092-711-5620

北九州市漫画ミュージアム

●住所/小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5階6階) ●開館時間/11:00~19:00 入館は閉館30分前まで
●電話/093-512-5077 ●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩2分 ●休館日/火曜日(休日の場合は翌日)、年末年始、館内整理日、夏休み等は無休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	エヴァンゲリオン展 アニメ「エヴァンゲリオン」を徹底解剖する初の本格的な作品展。	10/26(土)~12/27(金)	一般 ¥1,000 中学生 ¥500 小学生 ¥300 小学生未満無料	北九州市漫画ミュージアム 093-512-5077

北九州市立小倉城庭園

●住所/小倉北区城内1-2 ●休館日/なし ●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩約10分、「西小倉駅」徒歩約7分
●開館時間/9:00~18:00(11月~3月は17:00まで)受付は閉館30分前まで ●電話/093-582-2747

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	梅花女子大学図書館コレクション ちりめん本の世界 明治期の欧文絵本・ちりめん本を約100点展示します。	10/5(土)~12/1(日) ※11/5展示替	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093-582-2747
研修室	講演会「ちりめん本と長谷川武次郎」 日本の昔話や文化を発信したちりめん本の魅力を紹介します。	5(土)	14:00	
和室	香を聞く会 数種類の香木を焚いて聞き当てる「組香」で行います。	14(月・祝)	10:00 11:30 13:00 14:30	
書院棟	雅楽の夕べ 夜の大名屋敷で雅楽と舞楽を鑑賞します。	26(土)	18:00 (17:00より受付)	

北九州市立視聴覚センター

●住所/小倉北区城内4-1 ●電話/093-561-3131 ●休館日/毎週月曜日(月曜祝日、振替休日の場合は開館し翌日休館)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山公園」徒歩1分、「北九州市役所」徒歩5分 ●開館時間/9:30~18:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	子ども映画会 トムとジェリー「ワルツの王様」「お家はバラバラ」ほか 西遊記	13(日)	14:00	無料 (先着50名)	北九州市立視聴覚センター 093-561-3131
	週末映画会(洋画「奥様は魔女」)	19(土)	14:00	無料 (先着50名)	
	クラシック・レコード・コンサート モーツァルト作曲「交響曲第40番」ほか。楽曲解説あり。	20(日)	14:00	無料 (先着50名)	
	週末映画会(邦画「武蔵野夫人」)	26(土)	14:00	無料 (先着50名)	

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

●住所/小倉北区大手町11-4 ●電話/093-583-3939 ●休館日/所内整理日(毎月最終木曜日及びび年4回の第2木曜日)、年末年始
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場/有り(有料) ●開館時間/9:30~21:30

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	ピアノ・エレクトーン発表会	5(土)	12:00	無料	(株)ヤマハミュージッククリティシング 小倉店 093-531-4342
		6(日)	10:30		
		20(日)	11:30		
	フランコ・ジャポネ KAKEHASHI シャンソンコンサート	17(木)	15:00	¥5,000	(社)日仏友好シャンソン KAKEHASHI 090-5266-4823(島)

北九州市立美術館分館

●住所/小倉北区区町1-1-1 リバーウォーク北九州5F ●電話/093-562-3215 ●開館時間/10:00~20:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 バス:「室町・リバーウォーク前」下車 ●休館日/会期中無休

会場	イベント	期間(時間は上記)	開演	入場料	問合せ先
	1951年/早すぎた前衛芸術 実験工房展 絵画・オブジェ・写真など約400点	10/5(土)~11/10(日)		一般 ¥1,000 高大生 ¥600 小中生 ¥400	北九州市立美術館分館 093-562-3215
	(実験工房展関連イベント)学芸員によるギャラリートーク 本館学芸員によるギャラリートーク	12(土) 26(土)	14:00	無料 (ただし観覧券は必要)	

北九州市立松本清張記念館

●住所/小倉北区内2-3 ●電話/093-582-2761 ●開館時間/9:30~18:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩5分 バス:「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 ●休館日/なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	北九州市制50周年記念特別企画展 「松本清張と邪馬台国」	~11/4(月・祝)	常設展示観覧料を含む 大人 ¥500 中高生 ¥300 小学生 ¥200	松本清張記念館 093-582-2761

小倉井筒屋

●住所/小倉北区船場町1-1 ●電話/093-522-3111(代) ●定休日/不定
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩7分 ●展示時間/10:00~19:00※各最終日は16:00に閉場

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
大画廊	市川武の世界展 ~愛~ ダックスフンドの愛犬「ラフ」をモチーフとしたクレヨン画の作品展。	2(水)~8(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093-522-2521
	書家 藤嶋峻峯翁 傘寿記念書畫展 北九州市在住の書家・藤嶋峻峯氏の作品展。	9(水)~15(火)	無料	
	九世 高橋道八 襲名記念展 京焼の名跡・高橋道八を襲名した記念作品展。	16(水)~22(火)	無料	
	上野焼宗家十一代 渡久兵衛 橋壽記念展 作陶生活50年、橋壽(84歳)を迎えた記念作品展。	23(水)~29(火)	無料	
	紫草創作40周年パリ特別展記念 石川紫草色の世界展 「幻の花」といわれる紫草の染色を成し遂げた石川貴啓氏の作品展。	10/30(水)~11/5(火)	無料	
小画廊	藍色の秋 太田耕治 藍染展 小物・衣類からインテリアまで藍染の生活雑貨を展示。	2(水)~8(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093-522-2521
	相場るい児 陶展 北九州市門司区出身。注目の陶芸作家・相場るい児氏の小倉井筒屋初個展。	9(水)~15(火)	無料	
	熊谷守一(水墨・淡彩・版画)展 「画壇の仙人」とよばれた熊谷守一の作品約20点を展示販売。	16(水)~22(火)	無料	
	~平尾台、阿蘇、耶馬溪を描く~ 西村和己 油絵作品展 北九州の自然を描いた作品展。	23(水)~29(火)	無料	
	~ヨーロッパの旅から~ 松本剛一 絵画展 叙情あふれる油絵の作品展。	10/30(水)~11/5(火)	無料	

小倉城

●住所/小倉北区内2-1 ●開館時間/4月~10月 9:00~18:00 11月~3月 9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩20分、「西小倉駅」徒歩10分 都市高速:大手町ランプより車で5分 ●電話/093-561-1210

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1階歴史ゾーン	三城物語 ~中津城から小倉城、そして熊本城へ細川家の軌跡~ 小倉城を築城した細川家にスポットをあて、所蔵品他、紹介展示	10/5(土)~3/30(日)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093-561-1210
4階市民の大広間	第10回つまようじ全国名城展 つまようじて作った全国の有名城、他150点を展示	10/5(土)~12/1(日)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	
天守閣前広場	第55回北九州小倉城まつり 少年剣道大会、茶会、生花展、うまいもの市や郷土芸能ステージ他。	19(土) 10:00~ 20(日) 17:00	無料	

水環境館

●住所/小倉北区船場町1-2 ●電話/093-551-3011 ●開館時間/10:00~20:00 ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	水曜コンサート「シャンソンとピアノの奏べ」 歌:酒井京子 ピアノ:湯田美津子	2(水)	14:00	無料	水環境館 093-551-3011
	水曜コンサート「バイオリンとピアノの奏べ」 バイオリン:加来洋子 ピアノ:湯田美津子	16(水)	14:00	無料	

小倉南生涯学習センター

●住所/小倉南区若園5-1-5 ●電話/093-931-1286 ●休館日/毎週月曜(月曜祝日、振替休日の場合は開館し、翌休館)、年末年始
●アクセス/バス:「小倉南区役所」徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分 モノレール:「北方駅」徒歩12分 ●開館時間/9:00~22:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	福岡県吟剣詩舞道総連盟北九州地区吟剣詩舞道大会	14(月・祝)	9:30	無料	福岡県吟剣詩舞道総連盟 北九州地区事務局 093-881-6031
	第36回小倉南文化連盟文化祭 民踊大会	27(日)	10:30	¥300	小倉南民謡協会 093-961-0476(石原)
展示コーナー	秋のいけばな展	5(土)~6(日) 9:00~17:00 ※6(日)は16:00まで		無料	小倉南文化連盟 華道協会 093-471-3493(辻奥)
	北九州柳史俳画展	8(火)~14(月・祝) 9:00~17:00 ※8(火)は10:00から		無料	北九州柳史俳画会 093-921-2659(築別)
	小倉南美術協会工芸部創作フラワー展	17(木)~23(水) 9:00~17:00 ※17(木)は13:00から、 23(水)は15:00まで		無料	小倉南美術協会工芸部 093-451-3201(山岸)

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

平尾台自然の郷

●住所/小倉南区平尾台1-1-1 ●休園日/毎週火曜日、※ただし、休日の場合は開園し翌日が休園 ●開園時間/9:00~17:00(祝日は18時まで)
●アクセス/車:「小倉南IC」約20分 バス:「西鉄バス中倉営業所」よりタクシー or おでかけ交通で約20分 JR:「石原町駅」よりタクシー or おでかけ交通で約15分 ●電話/093-452-2715

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
高原音楽堂	第8回平尾台自然音楽祭	13(日)	12:00~16:30	無 料	平尾台自然の郷 093-452-2715

若松市民会館

●住所/若松区本町3-13-1 ●電話/093-771-8131 ●駐車場/110台(共用) ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「若松駅」徒歩1分 バス:「大橋通り」「若松駅」「若松市民会館前」徒歩2分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	第20回 若松芸能まつり 日本舞踊・民謡・民謡・三味線・大正琴・筑前琵琶	20(日)	10:00	¥500 (当日¥100増)	若松芸能まつり実行委員会 093-771-8131

北九州学術研究都市 会議場

●住所/若松区ひびきの2-3 (公財)北九州産業学術推進機構総務企画部施設管理担当課 ●電話/093-695-3003
●アクセス/JR:「折尾駅」よりバスにて15分・「黒崎駅」よりバスにて30分 車:都市高速「黒崎出入口」20分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
メインホール	第20回 気ままに音楽会in光貞 光貞市民センター文化祭の一環で行う地域手作りの音楽会です。	13(日)	13:30	無 料	光貞市民センター 093-692-9469

北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

●住所/八幡東区東田2-4-1 ●電話/093-681-1011 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「スペースワールド駅」徒歩5分、バス:「いのちのたび博物館」徒歩1分 ●駐車場/市営駐車場(いのちのたび博物館棟)大型30台、普通300台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
秋の特別展 「邪馬台国が見える! 古代日本の原風景」 弥生時代以降古代国家成立までの過程を、九州とヤマトの遺跡を対比し、その実態を検証します。	~11/4(月・祝)	9:00	大人 ¥700 高・大生 ¥400 小・中生 ¥300 ※常設展は別途料金が必要 ※常設展とのセット券あり	いのちのたび博物館 093-681-1011
秋の特別展関連イベント 「古代の火おこし体験」 まいぎり式による古代の火おこしを実際に体験することができます。	5(土) 19(土)	①11:00 ②14:00	※要特別展入場料	
植物細密画を描いてみよう! 植物細密画の描き方の基本と要点を線画段階と着色段階に分けて指導します。	6(日)	13:00	¥200 ※要申込	
野外観察会 ジオ・ハイキング「恐竜時代の大地を知る血倉山探索」 血倉山、権現山周辺をハイキングしながら、血倉山の成り立ちを楽しく学びます。	6(日)	13:30	¥50 ※要申込	
いのちのたび子ども教室[全8回] 展示品の観察や専門家である学芸員の観察・実験講座を企画しています。	10/12(土)~1/25(土) 13:30 おおむね第2・4土曜日		¥400 ※要申込	
親子de! 野菜からDNAをとりだしてみよう! 親子でチャレンジ! お料理感覚でできるDNA実験!	13(日)	10:00	¥50 ※要申込	
恐竜学講座・その1 恐竜の骨格のつくりや分類についてのやや大人向けの講義です。	19(土)	13:30	無 料 ※要申込	
ジオ・ツアー「大地の恵み “化石と景観”を楽しむバスハイク」 北九州市内の景勝地をめぐり、大地の恵みを楽しく学びます。	20(日)	9:00	大人 ¥2,500 小・中学生 ¥1,000 ※要申込	
野外観察会 「都市林のモニタリング型植物観察会~秋の部」 金比羅山の秋の植物を観察し、5年前の観察結果と比べます。	20(日)	10:00	¥50 ※要申込	
小倉織 入門教室 江戸時代に織られていた「小倉織」について、その歴史と技術について学びます。	26(土)	13:30	¥500 ※要申込	
秋の特別展関連イベント 記念講演会「弥生・古墳時代の朝鮮半島と日本」 講師:福岡大学教授 武末 純一氏	26(土)	13:30	無 料	

北九州市立児童文化科学館

●住所/八幡東区桃園3-1-5 ●電話/093-671-4566 ●開館時間/9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/バス:「市立児童文化科学館前」徒歩5分 ●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)・年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
会議室	サイエンスショー 「大気圧に関する科学実験」	6(日)	14:30	無 料	児童文化科学館 093-671-4566
プラネタリウム 屋上	星の観望の夕べ プラネタリウム観望後、秋の星空を望遠鏡で観察します。 ※中学生以下は保護者同伴 5(土)から電話受付	19(土)	19:00~20:30	大人 ¥100 中学生 ¥70 小学生 ¥50	
大集会室	秋の子ども文化劇場 子ども向けの紙芝居や手あそびなどをを行います。出演:八幡児童文化会	20(日)	14:30	無 料	
会議室	第56回 福岡県発明くふう展 小学生・中学生の発明作品を展示します。	23(水)~27(日)		無 料	

北九州市立西部勤労婦人センター(レディスやはた)

●住所/八幡東区尾倉2-6-6 ●電話/093-661-1122 ●休館日/月曜日、祝日、年末年始 ●開館時間/火曜日~土曜日 9:00~21:00 日曜日 9:00~17:00
●アクセス/JR:「八幡駅」から徒歩10分 バス:「八幡駅入口第一・第二」「市立八幡病院」から徒歩3~5分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
レディスやはたフェスティバル「プロが奏でるギターの調べ」 プロによるクラシック音楽・映画音楽などのギター演奏	26(土)	13:00	無 料	北九州市立西部勤労婦人センター(レディスやはた) 093-661-1122

現代美術センターCCA北九州

●住所/八幡東区尾倉2-6-1-3F ●電話/093-663-1615 ●休館日/展覧会によります
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩8分 ●開館時間/10:00~17:00(但し、展覧会開催時のみ)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
“美術放談” -市民美術大学 美術講座(後期)- 世田谷美術館館長 酒井 康徳とCCAディレクターとの対談	26日(土)	15:00	¥500 ※要事前申込	現代美術センターCCA北九州 093-663-1615

八幡市民会館



●住所／八幡東区尾倉2-6-5 ●電話／093-671-6061 ●休館日／年末年始 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「八幡駅」徒歩7分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩5分 ●駐車場／110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	八幡東西秋季総合文化祭 民謡講座研究発表会	13(日)	12:00	無料	春日流宗家事務所 093-642-2433
	第15回 三絃九重会 三味線演奏会	14(月・祝)	12:30	無料	三絃九重会 093-653-3513(山口)
	第28回 高文連演劇部門 北九州地区大会	25(金) 26(土) 27(日)	15:00 9:15 9:15	無料	福岡県立中間高等学校 093-246-0120(小原)
美術展示室	秋の北九州水彩展 洋画・水彩画 約80点	5(土)～11(金) 10:00～16:30 ※11(金)は15:00まで		無料	日本水彩画会北九州支部 北九州水彩画会 0930-23-6808(有益)
	八幡東写真展 写真 約80点	13(日)～20(日) 10:00～18:00 ※13(日)は12:00から、 20(日)は16:00まで		無料	八幡東文化連盟 093-621-1957(濱田)

黒崎井筒屋



●住所／八幡西区黒崎1-1-1 ●電話／093-643-5111(代) ●定休日／不定
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩1分 ●展示時間／10:00～19:00※各最終日は17:00に閉場

イベント	期間	入場料	問合せ先
中島光晴 書と柿渋染め展 墨絵の額装やタペストリー、柿渋染の衣類などを展示。	1(火)～6(日)	無料	093-643-5268
青木乃里子 水墨岩彩画展	8(火)～14(月)	無料	
染と織 小森草木染展 筑前・秋月の草木を使い染め上げた帯やショール、小物の作品展。	15(火)～20(日)	無料	
山村織物 久留米絨展 伝統を守りながらも、現代の生活に合わせた久留米絨作品を展示。	22(火)～27(日)	無料	

黒崎びびしんホール(北九州市立黒崎文化ホール)



●住所／八幡西区岸の浦2-1-1 ●電話／093-621-4566 ●休館日／年末年始 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩5分 筑豊電鉄:「黒崎駅」徒歩8分 西鉄・市営バス:「熊手四つ角」バス停より降りてすぐ 北九州都市高速黒崎ICから5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	穴生学舎混声合唱団「つばさ」第16回定期演奏会	6(日)	14:30	無料 ※要整理券	093-603-6044(木下)
	結成20周年記念 DRUM TAO LIVE 2013 in黒崎 (YELLOW公演)	12(土)	14:00	一般指定席 ¥3,500 高校生以下 ¥2,000 友の会会員 ¥3,000	黒崎びびしんホール 093-621-4566
	西日本ユースクワイアプロジェクト「黒崎、歌の幸。」	13(日)	14:00	¥500	西日本ユースクワイアプロジェクト 「黒崎、歌の幸。」実行委員会 090-9608-4763(園田)
	平成25年八幡日本舞踊協会公演	20(日)	11:00	¥3,000	八幡東日本舞踊協会 090-6423-7540(藤間)
	石飛歌謡教室発表会	26(土)	9:30	無料	093-613-5338(石飛)
	ピアノ発表会	27(日)	1部 12:00 2部 15:00	無料	093-981-0807(岩尾)
	チャリティ講演会 1人はみんなのためにみんなは1人のために～スーダンに病院を～	29(火)	18:30	¥500 高校生以下無料	北九州西ライオンズクラブ事務局 093-661-5221
中ホール	第18回八幡西文化連盟 秋の文化祭 AutumnConcert	14(月・祝)	15:00	¥2,500 (当日¥500増)	八幡西音楽文化協会 093-642-5180(宮吉)

北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー



●住所／八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3F ●電話／093-644-5206
●開館時間／9:00～19:00(入館は閉館30分前まで)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
黒ばら会松尾教室 木彫作品展 木彫 約200点	2(水)～6(日)		無料	木彫黒ばら会 093-602-8146(松尾)
西田壽夫 日本画展 日本画	2(水)～12(土)		無料	西田 久夫 090-7925-8326
和紙人形玉輝会22回展 和紙人形 約200点	8(火)～13(日)		無料	和紙人形玉輝会 093-661-0710(中村)
第36回八幡西写真展 写真 約60点	14(月・祝)～20(日)		無料	八幡西写真連盟 093-612-4464(加藤)
毛筆巻紙の絵てがみ展と色紙展 書 約100点	15(火)～20(日)		無料	西日本墨技学院 あずさの会 093-871-0220(中尾)
タヴォロツツェ展 洋画 約40点	21(月)～27(日)		無料	タヴォロツツェクラブ 093-381-7036(矢野)
春翠書友会書作展 書 約70点	25(金)～27(日)		無料	有木 静枝 093-282-3140
シルバー書、水墨画同好会の作品展 書・水墨画	10/28(月)～11/3(日・祝)		無料	作勝会(木本) 093-611-1676(木本)
グループ創 秀作展 洋画 27点	10/28(月)～11/3(日・祝)		無料	グループ創 093-246-1378(吉田)

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

北九州市立美術館本館



●住所/戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 ●電話/093-882-7777 ●休館日/月曜日(祝日・休日の場合は開館し翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)
●アクセス/バス:「美術館口」徒歩10分、「七条」[美術館口]より無料シャトルバス運行 ●開館時間/9:30~17:30(入館は開館30分前まで) ●駐車場/180台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
コレクション 展示室1~3	コレクション展Ⅲ~この素晴らしき彫刻の世界	~1/13(月・祝)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50	北九州市立美術館 093-882-7777
企画展示室 1~2	レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 藤田嗣治(レオナルド・フジタ)とその時代の作品 約140点	~10/20(日)		一般 ¥1,200 高大生 ¥800 小中生 ¥600	
B1F 講堂	(フジタとパリ展関連イベント) 学芸員によるスライド・トーク 本館学芸員によるスライド・トーク	6(日) 14:00~15:00		無 料	
企画展示室 1~2 市民ギャラリー	第69回 県展 日本画・彫刻・書・洋画・工芸・写真・デザイン部門の展示	10/29(火)~11/4(月・祝)		一般 ¥300 高大生 ¥200 小中生 ¥100	
市民ギャラリー	第18回新生起一般公募展 洋画・日本画・水彩画・水墨画・版画約120点	1(火)~6(日)		無 料	新生起美術協会 093-771-1313(河野)
	第18回曹亜鋼水墨画芸術学園 北九州地区作品展 水墨画 95点前後	8(火)~14(月・祝)		無 料	曹亜鋼水墨芸術学院 090-4587-0331(花田)
	第25回MOA美術館 北九州児童作品展 児童絵画	18(金)~20(日)		無 料	MOA美術館北九州児童作品展 実行委員会 093-652-4298(田長丸)
	松川英俊 回顧展 洋画 45点	22(火)~27(日)		無 料	松川 英俊 093-661-3741

戸畑市民会館(ウェルとばた内)



●住所/戸畑区汐井町1-6 ●電話/093-871-7200 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「戸畑駅」徒歩1分 バス:「戸畑駅」徒歩1分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北九州市制50周年記念 北九州歌謡フェスティバル 特別ゲスト:山本譲二(唄:蓬萊橋 ほか)、渡辺要(唄:男の浮世川 ほか)	4(金)	10:00	¥5,000	吉田歌謡教室 093-921-1152(吉田)
	KŌGE音楽祭	6(日)	9:30	無 料	高下富美子歌謡塾 093-921-4652(高下)
	北九州映画サークル協議会 創立60周年記念例会「浮草物語」 サイレント映画 ピアニスト柳下美恵さんによるピアノ伴奏付上映会	14(月)	13:00	¥1,200 (当日¥300増)	北九州映画サークル協議会 093-561-1784(宮下)
	北九州シテリオペラ ドリームオペラ・ガラコンサートVol.4 ヴェルディオオペラの魅力	18(金)	18:00	指定席 ¥4,000 自由席 ¥3,500 学生(小学生以下) ¥2,000	北九州シテリオペラ 093-571-0099(今井)
	第28回 北九州市中学校文化総合発表会	20(日)	12:30	無 料	北九州市教育委員会 093-741-1234(洞北中・原田)
	うたと民謡のつどい	23(水)	10:00	¥500	戸畑区役所コミュニティ支援課 093-871-1501(嶋田)
	戸畑区日本舞踊協会公演	26(土)	11:00	¥2,000	戸畑区文化団体連合会 093-871-1467(藤間)
中ホール	2013北九州国際音楽祭 ネマニャ・ラドゥロヴィチ プレゼンツ「悪魔のトリル」 J.S.バッハ:シャコンヌ ビゼー:ハバネラーオペラ「カルメン」より ほか	27(日)	15:00	指定席 ¥4,000 一般自由席 ¥3,500 U-25自由席 ¥2,000 ペア自由席 ¥6,000 (当日各¥500増、ペアは前売のみ)	北九州国際音楽祭実行委員会 事務局 093-663-6567
	民謡のつどい	14(月)	12:30	無 料	戸畑区文化団体連合会 093-871-4897(長谷川)
	第28回 北九州市中学校文化総合発表会	20(日)	12:30	無 料	北九州市教育委員会 093-741-1234(洞北中・原田)
	第23回 日本クラシック音楽コンクール	22(火) 23(水)	未定	無 料	日本クラシック音楽協会 03-6441-3222(斉藤)
	クラリネットの小さな音楽会 第8回足立山麓音楽会inとばた クラリネット:市川正幸、近藤洋子、溝口幸美、ピアノ:安藤昌子	25(金)	19:00	無 料	近藤 洋子 090-4778-9473(近藤)
ピティナ・ピアノステップ ピアノソロ、アンサンブルなど	27(日)	未定	無 料	ヤマハミュージックリテイリング 小倉店 093-531-4342(河嶋)	

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

*催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

CulCulの主な設置場所

市内J R駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、市内体育施設、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーションなど

北九州市芸術文化情報誌「CulCul」・「かるかる」

■発行日/2013.10.1 ■発行/北九州市、(公財)北九州市芸術文化振興財団 出版事業課
〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1-1-7F TEL:093-662-3012 FAX:093-662-3016

情報コーナー

■北九州文化連盟・劇団青春座 市民演劇「白洲灯台」

11月2日(土)～3日(日・祝)
午後1時開場、同1時30分開演。午後6時開場、同6時30分開演(3日は同1時30分開演のみ)。北九州芸術劇場中劇場(小倉北区室町)リバーウォーク北九州6F)。幕末から明治にかけて、響灘の難所白洲の灯台建設に命をかけ立ち向かった、小倉の岩松助左衛門を描く。全席自由。入場料、一般3000円、学生(大学生以下)2000円。(当日各500円増)。
劇団青春座
093(922)4995

■黒崎コミュニティサービス 「五耀會 in 黒崎」

11月10日(日) 午後0時30分開場、同1時開演、黒崎ひびしんホール大ホール(八幡西区岸の浦)。流派を超えて集まった舞踊家5人により結成された「五耀會」。九州初公演。出演は西川箕乃助、花柳寿楽、花柳基、藤間蘭黄、山村若。案内は桂吉坊。演目は義太夫・清元「吉野山」、地唄「ゆき」、長唄「旅」ほか。全席指定。入場料、一般5000円、友の会ファンタジア4500円、学生(大学生以下)4000円。
黒崎ひびしんホール
093(621)4566



撮影：篠山紀信

■北九州国際音楽祭実行委員会 「パーミング市交響楽団」

11月23日(土・祝) 午後3時30分開場、同4時開演、アルモニーサンク北九州ソレイユホール(小倉北区大手町)。音楽監



永野栄子

高校野球といえば「甲子園」。テレビに映る試合に目を凝らして、「このピッチャーいいなあ、あのバッターいいなあ」。そんな選手が、その後プロ野球で活躍したりすると、「私、見る目があったかも!」とか勝手な事を言いながら嬉しくなります。ピアノ版甲子園のようなものといえは、今月末に行われる「全

全日本音楽コンクール

日本学生音楽コンクール(北九州大会までは響ホール)でしようか。小・中・高校の部門があり、全国大会への切符を指してピアノの腕を競います。私は小学校の部を聴くのが大好きです。自身の生徒の事も気になりますが、それとは別にとても魅力的な演奏をする子供さんがいると、思わずファンになってしまいます。そして、毎年その演奏を聴き、成長を陰ながら見守るのはとても楽しいものです。

北九州大会

この十余年でこっそりファンになった子供さんが数名。そのまま音楽の道に進んだ方もいますが、ピアノが上手い人は頭もいいという事を実証してくれて、そんな進路を選択された方もいます。東大、九大医学部等々。嬉しいことに進学後もピアノをきちんと続けています。私は彼らの追っかけをまだまだ続けます。そして、今年もまた新しい才能に出会える事を楽しみに、せっせと響ホールへ通います。

督・指揮はアンドリス・ネルソンス、ピアノはエレニス・グリモ。ドボルザーク「新世界より」、ブラームス「ピアノ協奏曲第一番」ほか。全席指定。入場料、S席9000円、A席7000円、B席5000円、U-25(B席)2000円(当日各500円増)。
北九州国際音楽祭実行委員会事務局
093(663)6567

CulCul(かるかる) 郵送のご案内

CulCulは、市内の主要施設に置いていますが、あらかじめ郵便切手をお送りいただければ、ご自宅に郵送いたします。郵送先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、ご希望回数分の切手を添えてお送りください。


A. 三つ折り定型郵便物での郵送 一回90円

B. 定型外郵便物での郵送(折りなし) 一回 140円
11月号から平成26年3月号までの5回を上限といたします。

必ず、AかBいずれかと回数を明記して下さい。
切手到着後の郵送となります。
〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1の1
レインボープラザ7F
CulCul 郵送係まで

「CulCul」を電子ブックでも閲覧することができます

パソコン版 (公財)北九州市芸術文化振興財団のホームページからご覧になれます ▶ **北九州文化** 検索
URL: <http://www.kicpac.org/> ※TOPページ左メニューの出版事業からCulCulを閲覧できます

無料の電子ブック閲覧アプリ「ActiBook」でご覧になれます
スマートフォン・タブレット版 ①「App Store」または「Playストア」からアプリをインストール
②「ActiBook」アプリを立ち上げて「検索」メニューから「culcul」で検索 

「かるかる」をPDFでも閲覧することができます

ホームページからご覧になれます ▶ **かるかる** 検索 URL: <http://www.kicpac.org/culcul/index.html>



↑
二次元コードからでも
ご覧になれます。

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

CulCul topicトピック

北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館) 特別展
邪馬台国が見える！ 古代日本の原風景へのご招待



①



②



③



④



⑤

本展覧会は、今日の日本文化の基礎が形成されたと考えられる弥生時代や古墳時代を紹介した特別展です。中国大陸や朝鮮半島からの新しい文化を受け入れて大きく変化し、農耕社会に入った日本列島に、やがて「クニ」と言えるようなさまざまな地域的まとまりが出来ました。さらに大きな集団としてまとまり、世界にも類を見ないような巨大前方後円墳の被葬者が出現、やがて古代国家が成立しました。

展示構成
弥生時代
(紀元前400年頃～3世紀後半頃)

米食、鉄や青銅器、木製農具などの道具類の出現など今日の日本文化の基礎になる部分がこの時期に形成されました。今日の天皇家に伝わる剣、鏡、玉といった三種の神器が権力の象徴として登場するのもこの弥生時代です。邪馬台国もこの時代が終わる3世紀に登場しました。

古墳時代
(3世紀後半～6世紀末頃)

この時代は、一人の王のため長さ数百メートルにも及ぶ巨大前方後円墳を造ることから始まりました。卑弥呼が魏の皇帝からももらった鏡ではないかとも議論されている各地の三角縁神獸鏡をはじめ、宮内庁が管理している卑弥呼の墓説でも有力な奈良県箸墓古墳出土品、そして古墳時代の後半期を代表する古墳である奈良県藤ノ木古墳の国宝馬具類など多数展示の予定です。

介した対外交流は、あくまで北部九州の首長が中心となっていました。

Information

北九州市八幡東区東田2の4の1
093(681)1011

【会期】

9月14日(土)～11月4日(月・祝)

【特別展入場料】※()内は30人以上の団体料金

大人 700円(560円)

高・大生 400円(320円)

小・中生 300円(240円)

※常設展観覧は別途料金が必要

※セット券もあり

【開館時間】会期中無休

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【写真解説】

- ①卑弥呼等身大像
- ②藤ノ木古墳被葬者が身につけていた装身具(復元品)
- ③国宝藤ノ木古墳杏葉
- ④国宝桜ヶ丘5号銅鐸
- ⑤重要文化財三角縁神獸鏡(苅田町石塚山古墳)

Information

【常設展示入館料】

一般 400円(320円) 中高生 200円(160円)

小学生 100円(80円) 小学生未満 無料

※()内は団体料金

【開館時間】

午前11時～午後7時(入館は午後6時30分まで)

※毎週火曜日(休日の場合はその翌日)休館

【お問合せ】

北九州市漫画ミュージアム

093(512)5077

漫画

hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 司書

古川 清香 Sayaka Furukawa

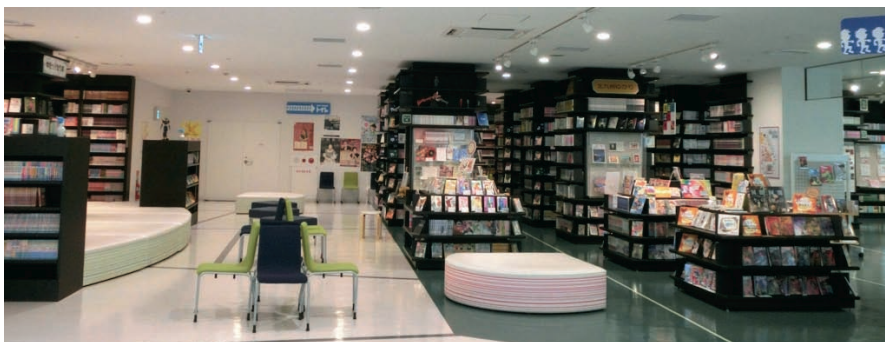
漫画を読むことができる閲覧ゾーンと「みんなで作る漫画ソムリエ」のご紹介

夏休み企画や開館1周年のイベントモードも収まり、次に控えています「エヴァンゲリオン展」の準備が本格的になっていきます。「エヴァンゲリオン展」の準備が本格的になっていきます。「エヴァンゲリオン展」の準備が本格的になっていきます。詳細は2ページをご覧ください。

さて今回は視点を变えて、常設展の一つでもあり、当館のテーマ「見る」「読む」「描く」の「読む」を担っています閲覧ゾーンと、ちょっと変わった漫画検索システムをご紹介します。

現在閲覧ゾーンには、往年の名作から現在話題になっている作品、また貸本時代の漫画作品、学習漫画、コミックエッセイ、海外漫画など、約5万冊の漫画があり、自由に手に取って読むことができます。また柱型書架の一部に展示ケースがあり、漫画家のサイン色紙や漫画雑誌の付録、漫画単行本のちよつとした仕掛けなど、漫画を楽しむエッセンスを紹介しています。そして、漫画ソムリエと呼ばれるスタッフによる、ひとつのテーマを基に組まれる特集コーナーや、来館者の皆様に漫画ミュージアムの感想やおすすめ

漫画の紹介などを自由に書(描)いていただくコミュニケーションボードなど、漫画のさらなる魅力を発信しているコーナーもあります。



閲覧ゾーン

5万冊もある漫画の中からお目当ての本を探すのは、至難の業です。当館には、図書検索できるコンピュータシステムがありますので、タイトルや著者などのキーワードを入力していただければ、蔵書の有無から場所の案内までできるようになっています。ちなみに、当館のHP (<http://www.kjgm.jp>) からでも蔵書検索ができますので、お試しください。

しかし、漫画ミュージアムに来ただけで、漫画に詳しくないし特に読みたい作品もないしという方も多くいらっしゃいます。そこは、ソムリエカウンターにいる漫画ソムリエに聞いていただければ、おすすめの作品をご紹介します。

さらに、この夏からお目見えた「みんなで作る漫画ソムリエ」で検索してみても面白いと思います。ここでは、キーワードではなく「フィードバック」で検索することができます。へ笑い(涙)へラブ(ハート)へなごみ)の5つの感覚を数値化していますので、「泣ける恋愛漫画が読みたいな」という方は、「涙」と「ラブ」の数値を大きくして、検索していただくとそれに合った作品が出てきます。イメージやその日の気分による検索で、いろいろな漫画に出

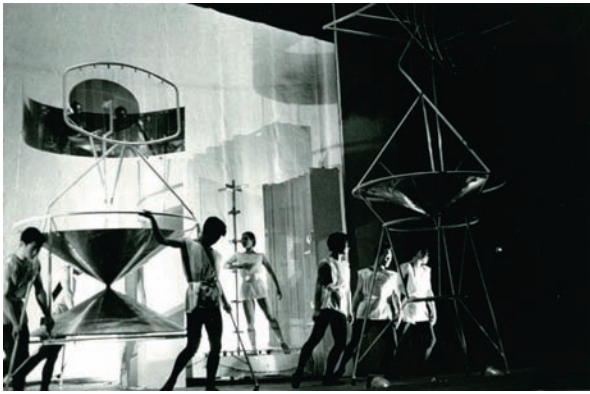
会ってほしいと思っています。また、この「漫画ソムリエ」は検索のみではなく、皆さんが参加できるシステムになっています。おすすめの漫画のフィードバック数値を入力し、投稿していただければ、それが検索するときのデータになります。皆さんの投稿で「漫画ソムリエ」は成長していきます。あなたの大好きな作品を「漫画ソムリエ」を通じて、皆さんに紹介してください。そして、皆さんで「漫画ソムリエ」をつくっていきましょう。ご来館の際はぜひ「漫画ソムリエ」の検索を楽しんで、新たな漫画と出会ってみてください！



検索画面



みんなで作る漫画ソムリエ



撮影：大辻清司 《『未来のイヴ』舞台写真（ポートフォリオ『eyewitnessより』）1955 / 2008年 世田谷美術館蔵

美術 hiroba

北九州アートめぐり

キュレーター

花田 伸一 Shinichi Hanada

「1951年／早すぎた前衛芸術 実験工房展―戦後芸術を切り拓く―」より

北九州市立美術館分館にて10月5日（土）～11月10日（日）に「1951年／早すぎた前衛芸術実験工房展―戦後芸術を切り拓く―」が開催されます。

「実験工房」とは1951年に結成された総合芸術家集団で、その名付け親は詩人・美術批評家でシュルレアリストの瀧口修造。その実験工房に関わった顔ぶれとして、造形作家の大辻清司、北代省三、駒井哲郎、福島秀子、山口勝弘。作曲家の佐藤慶次郎、鈴木博義、武満徹、福島和夫、湯浅譲二。ピアニストの園田高弘。詩人・評論家の秋山邦晴。照明家の今井直次。エンジニアの山崎英夫など、そうそうたるメンバーがいました。

活動としては、文学・音楽・美術を総合した総合芸術ともいえるバレエの創作・上演や、コンサート・展示・映像制作など様々な領域で展開されました。また当時最新のテクノロジーを積極的に導入しながら従来にない新たな視覚体験・聴覚体験を試みるなど、その名の通り「実験」的な表現に意欲的に取り組んでいました。

実験工房に関しては、その活動が多岐に渡ることや、そのま

まの形で記録に残らないものも多いことから、本格的な検証の機会がなかなかありませんでしたが、本展が公立館で実験工房の全貌を知る初の機会となります。

北九州市立美術館には、実験工房発足の3年後にあたる1954年に結成された美術家グループ「具体美術協会」の作品群が収蔵されています。関東の実験工房と関西の具体美術協会、ほぼ同時期に展開された両者の活動には、運営の方法や表現の着地点など色々と相違点があります。それらを比べながら本展を見るのもまた興味深いでしょう。

また、実験工房、具体美術協会、70年代の「もの派」など、近年、欧米において戦後日本美術への検証・評価の動きが大いに高まっています。北九州市立美術館はそのいずれの活動にも企画展やコレクション等で取り組んでおり大いに誇らしく思います。

さて、美術家個人ではなく集団として注目される活動としては、福岡・北九州では、1960年代から70年代に「九州派」



北代省三宅でオートスライド『見知らぬ世界の話』を制作するメンバー（撮影：大辻清司）1953年 多摩美術大学 秋山邦晴文庫蔵



『月に憑かれたピエロ』1955年 カラーズライド 福島和夫蔵

「集団蜘蛛」などが名を馳せました。国内外問わず、このように美術家たちがグループ活動をj経て才能を開花させてゆく例は歴史上いくつでもあります。

私見ですが、そのような創造的な状況が生まれる背景には、喫茶店や居酒屋など「たまり場」となる飲食店が必ずあるように思います。そのような「たまり場」が「工房」として機能し、まだ見ぬ才能を育む土壌となるのです。であれば街の文化向上を考えると、公共文化施設等の「ハコ」の創設・維持もさることながら、それ以前の段階として民間における「たまり場」が維持されやすいような都市計画を立てることも重要ではないでしょうか。

文芸 hiroba

ようこそ文学館へ

北九州市立文学館 学芸員

中西 由紀子 Yukiko Nakanishi

火野葦平の従軍手帳

去る8月14日(水)、テレビ番組「NHKスペシャル」で北九州市立文学館の寄託資料が取り上げられました。番組は「従軍作家たちの戦争」と題し、火野葦平が戦地で書きつづった手帳をひもときながら、文学者を戦争に動員する軍のメディア戦略と一人の従軍作家の軌跡をたどるドキュメンタリーです。今回は、ここで注目された「従軍手帳」と呼ばれる資料について紹介します。



インパール作戦従軍時の手帳全6冊。上3冊は手製。

○火野葦平の芥川賞受賞

火野葦平は、1906(明治39)年、現在の北九州市若松区に生まれます。本名、玉井勝則。父玉井金五郎と母マンは洞海湾で石炭荷役を請け負う「玉井組」を興したばかりでした。

旧制小倉中学校在学の間から文学に親しんだ火野は、家業を継ぐ一方、同人誌で創作活動を続けていました。38(昭和13)年に第6回芥川賞を受賞した『糞尿譚』はそうした中で書いた一編です。ところが、この受賞が決まったとき、火野は前年に勃発した日中戦争に応召し、中国杭州で従軍中でした。

戦線の〈兵隊さん〉が芥川賞を受賞したニュースは、「陣中授与式」という派手なパフォーマンスで喧伝され、火野の人生を大きく変えることになりました。

火野はこの後すぐ報道部へ転属となり、徐州会戦に従軍。従軍記『麦と兵隊』を発表し、戦時下の日本で爆発的な支持を得ていきます。

○従軍手帳の執筆と意味

生来のメモ魔である火野は、実に多くの記録を残しています。90冊ほど残る手帳類のうち、およそ20冊がいわゆる「従軍手帳」です。小ぶりの手帳(15×8cm程度)に、戦地での日録を驚くほど細かな字で、時にイラ



戦地でメモをとる火野葦平

ストを交え克明につづりました。

杭州(37年)、広東(38年)、海南島(39年)、汕頭(同)、比島(42年)、インパール作戦(44年)などの記録が確認できます。たとえば、甚大な犠牲を出しながら大敗北を喫し、「無謀」と評されるインパール作戦については次のようなメモを残し、苦悩をのぞかせています。

○ノーマンソラ地ニタタキツケ、スリツケタイヤウナ戦デアッタ、

○戦斗ノ実相、未曾有ノ酷烈サ(略)

○毎日平均(六月マデ)ニ千人ノ損耗、(略)

これら従軍手帳は、火野文学のルーツであると同時に、日本近現代史にとっても重要な史料です。また今回のようなメディア



展示の様子

Information

〒803-0813 北九州市小倉北区内4の1
093(571)1505

【開館時間】(入館は閉館の30分前まで)

平日 午前9時30分～午後7時

土日祝 午前9時30分～午後6時

【休館日】月曜日(月曜が休日の場合は翌日)

【入館料】

一般 200円 中高生 100円 小学生 50円

(年間パスポート)

一般 400円 中高生 200円 小学生 100円

ア論へ切り込む可能性も秘めています。
内容の一部は、研究者によりすでに活字として報告されていますが、全容の解明と詳細な検証がまたれます。
文学館では今年末まで常設展示として火野葦平の従軍手帳を展示します。ぜひ、この機会に歴史の証言に触れてみてください。



演劇 hiroba

演劇の街は、いま

大塚恵美子演劇事務所 代表

おおつか えみこ Emiko Otsuka

『高校生のための演劇塾』で学ぶ「コミュニケーション」

「舞台」「戯曲」「演技演出」の5講座から希望の講座を一つ選んで受講する。技術面の講師を劇場のテクニカルスタッフが、また、戯曲や演技演出の講師を地元の演劇人が担当し、小劇場、中劇場、大ホールを全部使用して行われる、何とも贅沢な企画である。

その年の生徒たちのニーズに合わせて講座内容も変化する。今年も、事前に開催された戯曲講座の受講生が書いた15分ほどの戯曲を素材として展開された。演技演出講座の受講生が演出とキャストに分かれ、照明、音響、舞台講座受講生と技術プランのやりとりをしつつ、最終的には中劇場で作品を上演するという、まさに「地区大会体験版」のような内容だ。劇場という空間に初めて足を踏み入れる生徒も多くいる中、時にとまどいながらも、一生懸命に作品創りに取り組んでいる姿が印象的だった。

私見ではあるが、高校時代に演劇という芸術から学べる事で一番大切なのは「自分は一人ではない」という事ではないだろうか、と思う。芝居を始めるために緞帳とんぼりを上げる、という作業ひとつにも、驚くほど多くの人間が関わっているのだ。開演ベルを鳴らし、客電が落ちるきっかけ、緞帳を上げ、音響や照明が変化し、役者が登場するタイミングなどなど、関わる者すべてがイメージを共有し、お互いの行動を意識しつつ作業しないと幕は開かない。誰かが自分勝手に動いたらすべてが台無しになってしまう。

演劇は「関係性の芸術」と呼ばれる。演劇が舞台上で役者同士の関係性を見せるものであるという文脈で使用される言葉だ。しかし、私はそこにはもっ

と別の意味があると思っっている。作品を提示する側がいかに密な関係性を築けているかが作品の良し悪しを決定するといっても過言ではないのだ。今年の『高校生のための演劇塾』においては、自分のアイデアにしがみつかず、他人の意見も受け入れつつ、自分の行動に責任を持つという「コミュニケーション」についての学びも多かったように思われる。10月25日から八幡市民会館で行われる今年の地区大会にそれがどう効果を表すか、今から楽しみだ。



3日間で作り上げた作品



演技演出講座 作品創りの様子

福岡県高等学校芸術・文化連盟演劇部門北九州支部と北九州芸術劇場がタッグを組んで毎年行っている『高校生のための演劇塾』が今年も開催された。(8月7日〜9日/北九州芸術劇場)

高校演劇においては、大体どこの県、どこの地区でも、夏休みの間に、秋の地区大会に向けて「夏季ゼミ」と呼ばれる講習会が行われているようだ。演劇の技術を学ぶのと同時に、学校間、特に、大会を運営する生徒実行委員同士の親睦を深める目

的も持つ。北九州地区でも、地元の演劇人が講師となり、市民センターや体育館を使用して実施されてきた。平田オリザや横内謙介など著名な演劇人を講師に迎えた年もある。多い年には100名を超える生徒が参加する、高校演劇に関わる者たちにとってはいわゆる「夏の風物詩」とも言える行事だ。

その「夏季ゼミ」が、北九州芸術劇場内で『高校生のための演劇塾』として実施されるようになったのは2007年の事だ。生徒たちは「照明」「音響」

Cul 特集Cul⁶

北九州市漫画ミュージアム

学芸員 柴田沙良 Sara Shibata

北九州市漫画ミュージアムでは、2013年10月26日(土)から12月27日(金)まで、大ヒットしたアニメ『エヴァンゲリオン』を振り返る、九州では初となる、本格的な作品展を開催いたします。

『新世紀エヴァンゲリオン』は、1995年よりテレビアニメシリーズとしてスタートしました。2007年からは長編アニメーション映画『エヴァンゲリオン新劇場版』が公開。第一部『序』、第二部『破』、第三部『Q』が12年までに公開され、完結編となる『シン・エヴァンゲリオン劇場版』の公開が数年後に予定されており、期待が集まっています。



© カラー

舞台は日本のとある都市。主要な人物として若者たちが登場します。主人公の一人に14歳のシンジがいます。ある組織で重要な地位にある、長い間疎遠だった父と再会。彼から突然、「エヴァンゲリオン」と呼ばれる物体に乗りこみ、「使徒」と呼ばれる謎めいた対象と戦うように命じられます。シンジを中心に、シリーズでは登場人物たちの戦いや、彼らの住む世界が描かれていきます。リアルに感じられる戦闘場面もさることながら、シンジの心の動きや、人々との関わりあい、美しい色彩の中で描かれていくのが、作品の魅力の一つです。

アニメーションの制作には、通常多数のスタッフが関わっていきます。実際にアニメを見た



『序』 C-0827 原画

だけでは表れてこないスタッフたちの作画上の指示の言葉、描線からうかがわれる、キャラクターができていく過程などが、展示では大きな見所です。今回はキャラクターやメカニック、細部のデザインを決定する上で、貴重かつ膨大な数の資料が公開されます。また、貞本義行氏が描いた漫画版『エヴァンゲリオン』の、複製原稿もお目見えします。

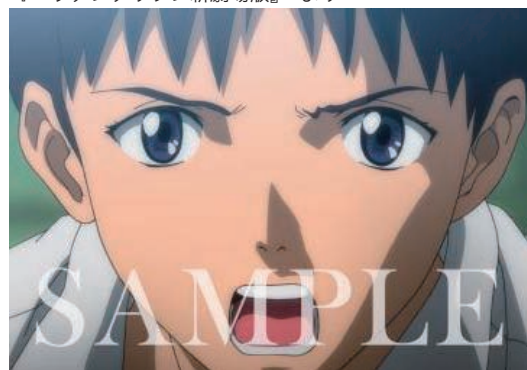
総監督である庵野秀明氏を始めとして、この一大アニメシリーズに関わったクリエイターたちが何を思いながら作っていたのか。どのようなことを伝えたいと思っていたのかなど、展示から想像してみたいかがでしようか。さらに、作品展全体を通して、アニメーション制作



『エヴァンゲリオン新劇場版』より

の現場のありさまをも感じ取っていただければと思います。

多様な広がり方と楽しみ方を提示する『エヴァンゲリオン』は、アニメとしてだけでなく、フィギュアや服飾雑貨など、多彩に商品展開も行われ、大きな市場を獲得しています。幅広い間口を持つ『エヴァンゲリオン』の世界を、漫画ミュージアムでどうぞお楽しみください。



『エヴァンゲリオン新劇場版』より

Information

【開催期間】
10月26日(土)～12月27日(金)
【会場】
北九州市漫画ミュージアム
【入館料】
一般 1,000円 中高生 500円 小学生 300円
小学生未満 無料
(常設展とのセット券)
一般 1,200円 中高生 600円 小学生 350円
【お問合せ】
北九州市漫画ミュージアム(午前11時～午後7時)
093(512)5077

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

2013
October

10

Vol.6

自分を開く時がくる。

特集

北九州市漫画ミュージアム

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | ようこそ文学館へ

美術 | 北九州アートめぐり

漫画 | 漫画と北九州

Topic | 北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

音楽 | いろはにぴあの